

氏 名	曾我 浩美
学位の種類	修 士 (看護学)
学位記番号	修 士 第 1 6 4 号
学位授与年月日	平成25年3月7日
学位論文題目	障害のある子どもたちへの性教育レディネスの育成 ー規範感覚の獲得を目指したアクションリサーチー

論文内容要旨

※整理番号	169	(ふりがな) 氏名	ぞかい ひろよし 曾我 浩美
修士論文題目	障害のある子どもたちへの性教育レディネスの育成 - 規範感覚の獲得を目指したアクションリサーチ -		
<p>《研究目的》 障がいのある子どもに規範感覚の獲得を目指したアクションリサーチを行い、性教育レディネスを育成することである。</p> <p>《研究方法》 アクションリサーチのプロセスに沿ってライフスキル講座による教育的介入を行い、規範感覚の獲得および性教育レディネスの育成を目指す。研究参加者は肢体不自由のある思春期の子どもとその養育者およびライフスキル講座を实践するボランティアである。</p> <p>《結果》 課題の明確化： 「場の雰囲気や相手の気持ちを察すること（＝規範感覚）」ができないため、性教育レディネスが育っていない。</p> <p>第1回ライフスキル講座： テーマ/相手の気持ちを考える プログラム/アイスブレイキング・ロールプレイ&グループディスカッション・ボーイズ&ガールズトーク・ボランティアとのショッピング・仲間へのプレゼント</p> <p>第1回養育者との会議： カテゴリーは、【将来の介護を見据えた特別支援教育】【友達との関わりから相手への気遣いを学習】【相談相手を子ども自身で選定することを期待】【夢や進路への支援を切望】【子どもに性的関心を表出されると困惑】【ライフスキル講座で相手の心情を漠然と察知】【環境により性的関心の表出が変化】【親密な交友関係を期待】【友達をつくる時間の不足】【大人の顔色を読もうと思索】</p> <p>第1回リフレクション・評価： ・大人の顔色を見過ぎて、客観的な判断をした上での言動ができていない。 ・子どもの考えに共感してくれるボランティアの存在価値は大きい。</p> <p>第2回ライフスキル講座： テーマ/優先順位を考える、将来の夢・進路について考える プログラム/自己紹介・アイスブレイキング・状況設定問題&グループディスカッション・ボーイズ&ガールズトーク</p> <p>第2回養育者との会議： カテゴリーは、【他者との意見交換を少しは実践】【道徳性を身につける経験の不足】【介護者に依存せざるを得ない生活の弊害】【介護者が代弁する会話を懸念】【養育者の前では性的話題を回避】【子どもの人格を尊重する対応を期待】【施設では性的な質問は想定外】【施設での同世代同士のコミュニケーションは希薄】【悩みを共有しようとする相手に相談】</p> <p>第2回リフレクション・評価： ・相手に自分の意見を主張できるようになり、相手の意見を受け入れられるようになってきた。 ・道徳性を身につける経験ができていない。</p> <p>《考察》 肢体不自由という障がいの特性として、常に大人が付き添っており、友達同士の関係が築けない生活環境により、相手を思いやること、恥の感覚、状況判断力などの道徳性・常識的価値観など、同世代の友人との集団社会生活を通して学ぶべき能力が身につけにくく、ライフスキル、規範感覚なども獲得しにくい。したがって、子どもの心理社会的能力を効果的に伸ばすために、障がいの特性を踏まえた上で、個別性に応じた教育的支援を行うことが必要である。</p> <p>《総括》 性教育レディネスの未熟な障がいのある子どもへの性教育は、性衝動を高めることにつながりやすく、自力で性的欲求の解消ができずに悩む可能性があることを養育者は認識し、必要時には養育者自身でその介助を行う覚悟を持ってない以上は、子どもに性教育を受けさせるべきではない。</p>			

- (備考) 1. 研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に記載すること。(1200字程度)
2. ※印の欄には記入しないこと。